



● 大同生命厚生事業団 ボランティア活動助成

【申込受付期間】平成24年5月31日(木)必着 【助成金額】1件原則10万円。※内容が優れている場合は20万円限度で助成。
【助成対象】社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っている団体 ※詳しい応募条件などはホームページをご覧ください。
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください → http://www.daido-life-welfare.or.jp/index.htm
【問い合わせ】公益財団法人 大同生命厚生事業団事務局 TEL 06-6447-7101 FAX 06-6447-7102

● ニッセイ財団 高齢社会における先駆的事業助成

【申込受付期間】平成24年5月31日(木) 当日消印有効 【助成金額】最長2年半/合計助成金700万円以内(1~2団体を予定)
【助成対象】活動実績のある社会福祉法人、財団法人、社団法人、NPO法人 ※詳しい応募条件などはホームページをご覧ください。
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください → http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/O2_gaiyo.html
【問い合わせ】日本生命財団 高齢社会助成 事務局 TEL 06-6204-4013 FAX 06-6204-0120

● 平成24年度NHK厚生文化事業団「わかば基金」

【申込受付期間】5月31日(木)必着/郵送のみ 【助成金額】1グループにつき、最高100万円
【助成対象】地域に根ざした福祉活動を展開しているグループ ※詳しい応募条件などはホームページをご覧ください。
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください → http://www.npwo.or.jp/info/2012/24wakaba.html
【問い合わせ】NHK厚生文化事業団「わかば基金」係 TEL 03-3476-5955

「高速道路交通安全」セミナー 無料出張講座

※企業の「CSR」に関する情報提供です。

高速道路を知って、より安全に走行しませんか？
いつでもどこでも伺います。

- 受講人数は何名様からでもお伺いします。
●所用時間は標準1時間程度を設定しておりますが、30分~2時間程度までご都合に合わせて内容の変更は可能です。
●講師派遣に係る交通費・費用など全て無料です。

NEXCO中日本では、ご要望に応じ企業、各団体及び学校が開催する学習会、講演会に社員を派遣し、高速道路上での交通事故の発生状況や交通安全のポイント等の情報を提供して、皆さんの安全・安心・快適なハイウェイドライブをサポートします。予約などは全て電話で完了します。お気軽にお問い合わせください。

〈お申込み/お問い合わせ〉
NEXCO中日本 松阪工事事務所
(交通安全セミナー担当)
0598-25-1661

センターからのお知らせ

◎センター休館のお知らせ ▶ 5月3日(木)~5月5日(土)
※会議室のご予約などは、センターの開館日にお電話ください。

ちょこつと編集後記.....
新年度、気づけば桜も散っていました。皆の気づかぬうちに物事が進む...そんなスピード感で仕事をしたいです。[S]

松阪発信! 市民活動の情報紙 アロマ 次号は2012年6月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。
次回の原稿締切は2012年5月31日(木)です。 担当/澤

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

Table with 2 columns: 会議室 (Meeting Room) and 機材等 (Equipment). Includes details on room types, chair counts, and pricing.

情報提供 ▼ 松阪市市民活動センターホームページ http://www.katsudou.com
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/



AROMA A Resident Of Matsusaka Activity

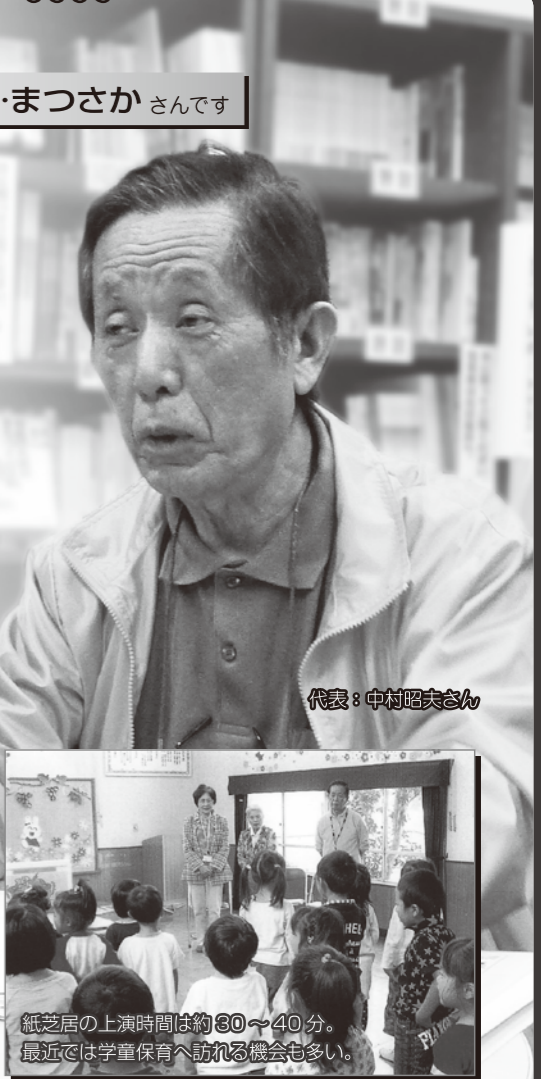
〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜~土曜日/10:00~22:00
(予約専用) TEL 0598-25-3801 0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.40



今号は... 防災宅急便! もしも...まつさか さんです

昨 年の東日本大震災から1年以上経った今でも、被災地では復興に向けて懸命な努力が続いている。東海・東南海・南海連動型地震の被害想定では、この地域にも甚大な被害が予想されている。今回取材させていただいた「防災宅急便! もしも...まつさか」は、地域における防災意識の啓発に取り組む団体だ。主な活動は、子ども向けの防災紙芝居・自治会向けの防災出前講座・企業向けの社員研修など。団体設立は平成21年。この地域で防災活動を行う団体「防災ボランティアネットワーク松阪」に、松阪市から「子どもたちを対象とした防災活動」への協力要請があったことをきっかけに新たな団体を発足。中村昭夫(なかむらあきお)さんが代表となった。メンバーは、50~70代の17名。ほとんどがパートや会社勤めをしながら、ボランティアで携わっている。



代表: 中村昭夫さん

紙芝居の上演時間は約30~40分。最近では学童保育へ訪れる機会も多い。

松 阪市から委託を受ける防災紙芝居は団体の主要な活動だ。市内の幼稚園や小学校に出向き、日頃の備えの大切さなどを伝えている。「地震が起こったらどうする?」と問いかけることで防災に対する関心を引き、子どもたちの集中力を高めてから紙芝居を披露。更に、上演後は「地震が起こったらみんなで協力しよう」、「家に帰って家族と防災について話をしな」と呼びかけている。「災害は必ずやってくる。被害を最小限にとどめるにはどうすればいいか、子どものうちから知ってほしい」と中村さん。この活動を子どもを通じて「大人への意識啓発」につながる取組みと捉え活動を展開している。

今 年度は自治会向けの活動にも力を注いでいる。住民参加型の避難訓練、地区代表者向けの防災講座、避難所での炊き出し体験などプログラムは幅広い。また、海岸部や河川部、山間部のそれぞれの地域に応じたプログラムを組んでいる。中村さんは「日本には昔から「向こう三軒両隣」という言葉がある。震災時は隣近所で助け合うことが不可欠」と話す。顔の見える近所づきあいが被災へのカギ。そのためにも普段から地区長らが集まり、災害時の指示系統などを話し合っておくことも重要だ。プログラムを受けた自治会の代表者からは「非常時に自治会がすべきこと、優先すべきことの順序が把握できるようになった」と、嬉しい感想を聞くことができたそうだ。

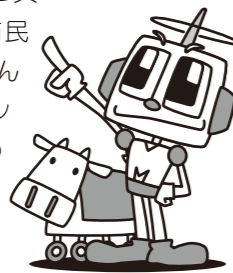
後 継者育成も大切な活動。今後はメンバーに防災の基礎知識をしっかり伝え、震災時のボランティアコーディネーターとして育成していくことも目指している。また、新しい防災紙芝居の制作にも意欲的だ。志を共にして活動するメンバーも募集中。「地震や防災について知りたいことがあれば、どこへでも伺います。「防災」と構えずに気軽に声をかけてほしい」と中村さん。震災から時間が過ぎるほど記憶は薄れていく。その記憶を「他人ごと」として風化させることなく、いつか必ずやってくる「自分ごと」として胸に刻み、非常時に備えるべきだ。まずはこうした団体に依頼し、防災についての知識を得るところから初めてみてはどうだろうか。

この団体へのお問合せは... 防災宅急便! もしも...まつさか TEL: 090-1279-5745

平成24年度 松阪市市民活動センターは基本業務を強化します!

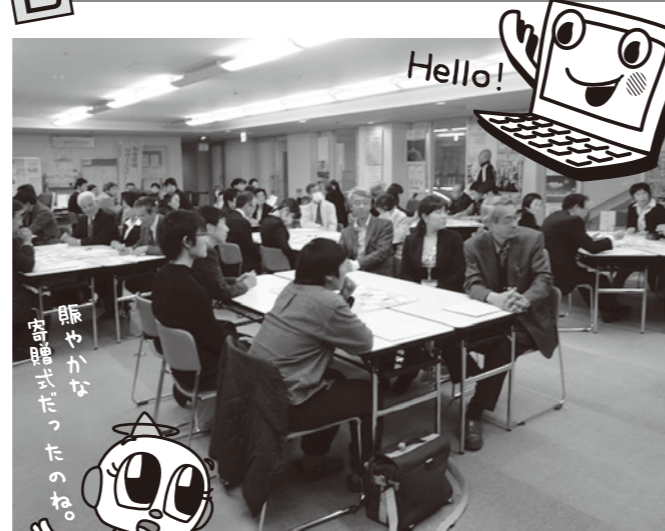
平素は松阪市市民活動センターの取組みに格別のお引き立てをいただき誠にありがとうございます…と、堅苦しく書き出してしまいましたが、そのくらいの心構えで、今年度、当センターは基本業務、講座事業などを強化していく考えです。

まず、改めて利用者目線の「施設管理」を心がけます。会議室や備品の管理はもとより、非常時の対応など危機管理も徹底する考えです。また、「相談業務」なども基本に立ち回り内部強化を図ります。ボランティア、市民活動などに興味のある方や、当センターに登録された市民活動団体とのコラボをご希望の企業の皆さんなど、市民活動にまつわるご相談は当センターまでお気軽に。より専門的なご相談の場合は今まで同様、予約制の「ボランティアなんでも相談」もご利用ください。



更に、「各種スキルアップのための講座」にも力を入れていく考えです。例えば「情報の発信と発見にまつわる講座」、「企画力アップにつながる講座」、「コミュニティビジネスにまつわる講座」、「CSRにまつわる講座」などなど。また、受講者のサークル化やネットワーク構築を図り、地域のイベントなど発表の場を提供する予定です。講座のご案内は本紙の他、メルマガ、ホームページ、ツイッターなどでもお知らせします。お好みの講座がありましたら是非ご参加ください。

リユース PC 寄贈プログラム 寄贈式を開催しました



賑やかな寄贈式だったのね。



- 【松阪地区寄贈団体】※順不同
 特定非営利活動法人 CTF 松阪
 特定非営利活動法人健康・福祉・環境日本一をめざす市民会議
 松阪生活と健康を守る会
 三重自然誌の会
 三重ローカルアクト
 松阪手づくり甲冑愛好会
 笑びすや農園



3月24日、みえ市民活動ボランティアセンターで「みえ イーパーツ リユース PC 寄贈プログラム(※1)」の寄贈式を開催しました。毎年好評のこのプログラムに当センターも参画して6年目となります。寄贈式の会場には三重県全域から集まった市民活動団体、応援企業、マスコミ関係者がズラリと勢揃い。この日は寄贈式の他、日本マイクロソフトの記念講演、交流会ではトレンドマイクロによる情報セキュリティの解説とセキュリティ双六を実施。また、過去の寄贈団体の中からリユース PC を活用した優秀な取り組みを「市民活動情報化アワード」として表彰するなど内容も盛りだくさん。賑やかな寄贈式となりました。このプログラムに参加した市民活動団体にとってはリユースパソコンの寄贈だけでなく、広域での団体交流や情報交換ができたのではないかと思います。松阪地区の寄贈団体は、三重県全体で35団体のうち左記の7団体でした。

(※1) みえ イーパーツ リユース PC 寄贈プログラム
まだ使えるパソコンに初期化、再インストールを施し、再使用できるようにしたリユースパソコンを市民活動団体に無償で提供し、情報化を促す取り組みです。
主催：認定NPO法人イーパーツ(本拠地：東京)

第2回 松阪地域円卓会議開催のお知らせ

5月29日(火)19:00より、行政、企業、自治会、NPOなど各セクターの代表が参画する「第2回 新しい公共 松阪地域円卓会議」が当センターにて開催されます。この円卓会議は三重県として取り組む「新しい公共(※)」に、各地域の意見を反映させるために開催されます。今回の地域円卓会議には、3月に開催された「第1回三重県円卓会議」の結果がフィードバックされます。このように地域と県域でそれぞれ3回、交互に円卓会議が行われ、各地域の意見を集約した「新しい公共推進指針」の策定を目指します。傍聴可能な公開会議ですので、ぜひ当センターに足をお運びください。

※新しい公共とは…行政だけでなく、市民やNPO、企業などが積極的に公共的な財・サービスの提供主体となり、教育や子育て、まちづくり、介護や福祉などの身近な分野で活躍することを表現しています。(内閣府ホームページより)

【第2回 新しい公共 松阪地域円卓会議】

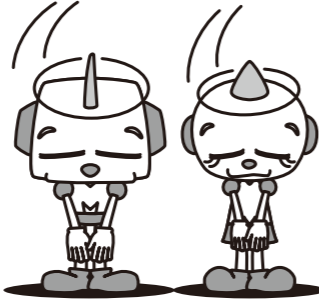
- 平成24年5月29日(火)
- 19:00~(約2時間程度)
- ※傍聴無料/申込不要



24年度 センター運営委員の皆様をご紹介します。

- (登録番号順).....
- 松阪市自治会連合会 長野 操さん
 - 松阪市商店街連合会 宮村 元之さん
 - 松阪木鶏クラブ 西山 定さん
 - そよかぜ会 角 喜久子さん
 - 伊勢平氏研究会 倉田 正義さん
 - 三重県郷土資料刊行会 池田たえ子さん
 - 松浦武四郎記念館友の会 飯田 秀さん
 - CB松阪 大田 雅仁さん
 - 防災宅急便! もしも…まつさか 中村 昭夫さん
 - 特定非営利活動法人なかよし 中村 佳文さん
 - 松阪市コミュニティ推進課(課長) 松尾 容子さん

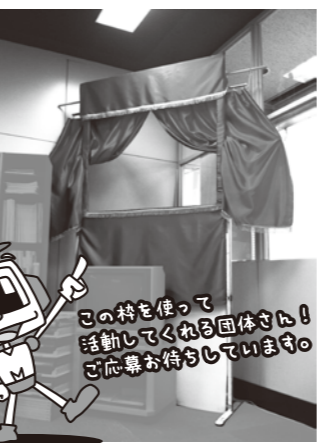
委員の皆様にはセンター運営に関する重要事項(※1)の承認やアドバイスをいただきます。1年間よろしくお願いたします。



- ※1 センターの運営に関する重要事項って?
- ①利用料金
 - ②開館時間
 - ③休館日
 - ④団体の登録及び取消し等

センタースタッフお手製 人形劇の“舞台枠”お譲りしますよ~!

当センターのラウンジでひときわ目立つ人形劇の舞台枠。ツルツルの赤いサテン生地と、黄色いフリンジで装飾されています。センタースタッフの手作りなので、作りの荒さも目立ちますが「そんなの気にしないよ」という心の広い団体さんに、この舞台枠をお譲りしようと思います! ※限定1団体様



- 【応募条件】
- ・当センターの登録団体であること
 - ・当センターまで受け取りに来てもらえること
 - ・この枠を使った活動報告をしてもらえること
 - ・大切に扱ってくださること

【応募方法】件名を「舞台枠希望」とし、「団体名と代表者名」、「連絡先」、「応募動機(簡単に説明してもらえれば結構です)」をメール、FAX、電話のいずれかでお申込みください。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

Mail: katsudou@ma.mctv.ne.jp Fax: 0598-25-3803 Tel: 0598-26-0108

【申込締切】5月31日(木)

身近なCSRを探して vol.12 “ゆず”を使って地域産業の活性化をめざす



現在、松阪市嬉野地区、多気町、大合町、南伊勢町、志摩市の5地区に2200本のゆずを植樹している。

辻製油株式会社

【本社】松阪市嬉野新屋庄町565-1

「辻製油株式会社」は、菜種油の製造・販売等を行う食料油メーカー。現在、「ゆずをつかった地域活性化プロジェクト」に力を入れている。もともと高知大学と研究開発で連携していた辻製油は、2007年、ゆずの未利用部分の活用の相談を受けた。研究を重ねた末、果汁搾取後のゆず皮からオイルの抽出に成功。この事例をうけて辻保彦(つじやすひこ)社長が「気候が似た三重県でゆずの栽培ができるのでは」とプロジェクトを考案した。過疎化・後継者不足・耕作放棄地の増加といった問題を抱える県南部の農業地域で、ゆずを軸とした新産業を展開し、雇用創出・商品開発などで活性化させようというものだ。独自で地元農家と連携し、2009年からは三重大学とも連携がスタート。農家との連携で地域からの信頼が得られ、大学との連携でネットワークが拡大した。また、ゆずの植樹ボランティアに社員が参加することで製品への愛着や誇りが生まれ、仕事へのモチベーションも向上している。現在は、本格的にゆずが収穫されるまでに、大学や他企業と協働しながら商品化を進めている。

【TEL】0598-42-1711 【URL】http://www.tsuji-seiyu.co.jp/

